

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月24日

【評価実施概要】

事業所番号	3870201195		
法人名	社会福祉法人 今治市社会福祉協議会		
事業所名	今治市社協グループホーム ゆいの里		
所在地	今治市大三島町野々江2435-14 (電話) 0897-74-1370		
管理者	菅 千枝		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	松山市持田町3丁目8-15		
訪問調査日	平成19年6月4日	評価確定日	平成19年7月24日

【情報提供票より】(平成19年5月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年 7月 11日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	11人	常勤 2人, 非常勤 9人, 常勤換算	人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	31,000円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200円	昼食 400円
	夕食	400円	おやつ 0円
	または1日当たり 円		

(3) 利用者の概要(5月15日現在)

利用者人数	9名	男性 0名	女性 9名
要介護1	3名	要介護2	2名
要介護3	4名	要介護4	0名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 84歳	最低 69歳	最高 94歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定(あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定 あり(なし)	指定認知症対応型通所介護
届出 あり(なし)	短期利用型共同生活介護
加算 あり(なし)	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人代表者等の、地域に必要であるという強い思いを軸に専門的知識や経験を活かして設立されたホームである。建物は、ゆったりした平屋の木造で、懐かしさや温かさが感じられ、馴染み易い雰囲気を醸し出し、利用者や地域の人達だれでも自然にとけ込むことができる。職員間のチームワークがよく、目配り・気配り・心配りのある対応の成果は、利用者一人ひとりの穏やかな表情・笑顔に表れている。心を込めて楽しみながら作られた食事は季節の食材が豊富で美味しい。家・ひと・地域のぬくもりにふれ合いながら、その人らしく安心して暮らしていけるよう質の向上をめざし職員は見守りを大切に取組んでいる。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
 改善課題は職員一人ひとりの課題とし、真剣に取り組んでいる。中でも地域への関わり、働きかけや多機能性については今後も課題点となっている。理念の1つである地域のぬくもりについて、高い専門性を活かした具体的な方針や内容の目標を全職員で再確認・検討しながら進んでいくことが望まれる。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
 ホームの質の向上のために、全職員が話し合い意見を出し合い自己評価に取り組んでいる。その中で評価の意義を共有し再確認することができる。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
 テーマについて悩んだ時期もあったが、同法人の隣接ホームと相談できたことは幸いである。現在の課題を見つけ、地域の方々との交流の機会への働きかけを考えたり、ホームの理解を深めるための学習をしたり、行事計画の報告をするなどサービスの向上に活かせる会議を行っている。出席者からは適切な助言をいただいている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
 家族から素直に意見や気持ちを伝えて頂くためには、家族の立場に立った要望の受け入れが大切である。利用者の健康状態を一番気にかけている家族が安心できるよう、ホームからは定期的な連絡や報告を引き続き行い、より深い信頼関係を築きあげることが期待される。

▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
 地域主催の行事に参加し、お大師参りには利用者手作りの小物をお供えし交流を図っている。ほのぼのとゆっくり時間が流れていく雰囲気の多目的ホームを媒体に、職員の人柄が加わり地域の人達との交流が益々広がっていくことを期待したい。近所の方が野菜や果物を届けに立ち寄ってくれることもある。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 今治市社協グループホームゆいの里

(ユニット名) _____

記入者(管理者)
氏名

菅 千 枝

評価完了日

平成19年 5月 15日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 家のぬくもり、人のぬくもり、地域のぬくもりに触れ合いながら、その人らしく暮らして頂ける様、お手伝いさせて頂くという理念のもとサービスに努めている。 (外部評価) 地域との関係性の継続を重視した“地域のぬくもり”をより深く達成することが期待される。具体的な内容を全職員で検討し目標に向けて前進されることが望まれる。	※	ホームとしてワンステップ向上躍進するための方針・目標設定が期待される。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員が理念を理解し、目標を定め、ケアに心がけている。 (外部評価) 利用者がその人らしく安心して生活できるよう、ミーティングや介護計画作成時には理念が反映され活かされるよう確認しあっている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) おたよりや行事報告の送付、又、家族来所時、日頃の様子等、お伝えし理解してもらえる様努めている。		
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日頃の行事にお誘いしたり、散歩されている時言葉かけし、親しくなってもらっている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 愛護班、地域主催の、とんど行事、保育園行事、伝承文化に参加し、お大師参りには、利用者様と一緒に作った小物等をお供えし、交流に努めている。 (外部評価) 馴染みやすく気軽に訪問できる雰囲気や職員の人柄の良さや親しみやすい対応がみられ、今後更なる地域との交流が期待できる。当日近所の方々がびわを持って訪れた。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 認知症の正しい理解の研修を計画し地域に呼びかけている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己、外部評価の意義は理解できており、必要なサービスの反映に努めている。 (外部評価) ホームの質の向上のために全職員で自己評価に丁寧に取り組み、評価の意義を共有し再確認している。		
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) サービスの質の向上に重点をおいた会議内容とし、会を重ねる毎に色々な意見や協力の申し出を頂いている。 (外部評価) 自己評価や外部評価結果の内容をテーマにし、出席者より意見をもらったり今後の取り組みについて話し合っている。現在の課題を討議している。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 隣接した保健センターへの利用の参加や、保健師との連携により認知症専門医の診察を受ける。おたよりや行事予定、報告を提出し理解や助言を頂き、サービスの向上へとつなげている。 (外部評価) 市担当課との連携が取れている。便りや行事報告も行っている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 外部研修に参加し、施設内での研修テーマに取りあげ、制度について学ぶ機会を持ち必要時には活用できるよう、心掛けている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 外部研修に参加し、施設内での研修テーマに取り上げ、全職員が理解し、正しく認識しており防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前に施設訪問をお勧めし十分な説明を行い、理解・納得を頂き入居時契約している。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 穏やかに心配りの介護に努め、利用者の気持ち意見を受け入れ、その人らしい生活が送られる様援助している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) おたよりの発行や行事予定報告、必要時のTEL連絡、又金銭管理についても来訪時に確認を得ている。 <hr/> (外部評価) 金銭管理については来訪時に家族からサインを得ている。衣替えや通院介助のことなどその都度報告し、協力を得ている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族と職員との話しやすい関係作りに努め意見、要望等サービスの質の向上に反映させる様対応している。苦情、相談窓口を設け意見の受け入れ準備ができています。 <hr/> (外部評価) まずは家族の意見や気持ちを把握することが大切であり、そのためには家族の立場に立った要望の受け入れを検討することが必要である。	※	意見箱の設置場所・ご意見ノートなどさりげなく伝えてもらうための工夫が期待される。
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 支部長、管理者、職員が月に1度会議を行い、その内容を全体ミーティングで共有し、反映させている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 身体状況の変化時、行事等必要時、職員の勤務調整サービスの充実に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 隣接したグループホームとの交流を日々行っており、常に利用者とは馴染みの関係を保っている。 (外部評価) 職員の異動は、同ホームと同法人隣接ホームとの三棟の中でのみ行われるため、日頃から利用者との交流もあり、“顔見知り職員の異動”のため影響はない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 全職員が研修できるよう計画的に外部研修の参加し、研修後伝達研修を行っている。 (外部評価) 内部研修は月1回実施している。外部研修は職員が順番に出席し、伝達は朝のミーティングで報告されている。研修記録を残している。		
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 隣接したGHゆいの家やディサービスセンター大三島があり気軽に交流が図れる。 (外部評価) 他ホームとも交流し、モールで作った指輪をお土産に差し上げた。同法人の隣接ホームとの交流は密にあり、質の向上に役立っている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 日常的に意見交換できる雰囲気作りに心掛け、支部長（事業所長）といつでも相談できる体制を整えている。又、親睦会等実施しストレス解消できるよう取り組んでいる。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 支部長が日常的に来所し、職員、利用者様に声をかけをしながら、勤務状況を把握している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前面談で生活及びADLの把握に努め、本人の思いや不安なことを理解し、職員が受け入れられる様な関係づくりに努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の苦労や、今までのサービス利用状況等、教えて頂き、事務所としてできる対応について自宅訪問や来所し、見学して頂き、事前に話し合っている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 必要なサービスの情報を迅速に提供できる様努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) パンフレットでの情報及び、入居前に施設の雰囲気を感じて頂ける様、来所をお勧めし、一緒に過ごす。又、慣れるまでご家族様の宿泊も可能。 (外部評価) 入居前に十分に納得し、安心したサービスを受けてもらうためにもホームとしてできる限り馴染めるための工夫やアドバイス・相談・体調確認をおこなっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 常に見守りしながら、得意分野では、力を発揮できるよう、セッティングや工夫、言葉がけに配慮し、共に喜び、感謝の気持ちを伝えている。 (外部評価) 利用者本人の意思を把握し、尊重しながらさりげなく手助けするよう心がけている。利用者一人ひとりから学ぶことも多く、感謝の気持ちを忘れないようにしている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 本人やご家族の希望、大切にしていることを教えて頂き、介護に反映するよう努めている。又、面会や行事等、来所しやすい雰囲気を大切にし、ご家族様との関係を保てるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) おたよりや電話でのお知らせや行事等の参加により、一緒に食事やゲーム等し、和やかに過せるよう努めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 敬老会行事、地域のお祭り、お大師様参り等でかける機会をつくっている。又、婦人会やボランティアの方々の来所や、友人知人の来所しやすい雰囲気作りを大切にしている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 性格の違いや、認知度によりトラブルはあるが、職員が各々の話を十分に聴いて、仲を取り持ち、他の利用者には不安や支障をきたさない様子やかに対応している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 色々な情報を提供できるよう心掛けている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) アセスメントシートや本人、家族からこれまでの生活歴や大切なこと、思いを知り、希望や意向の把握に努めている。 (外部評価) 本人・家族・親戚の方達と昔話を語る中で本人の希望を見つけ、生活の中で活かしている。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時、基本情報シートに記入して頂き、全体を把握、又、利用者、家族との会話の機会も再々あり、色々と教えて頂いている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 生活リズムを把握し、本人の得意分野で力が発揮できるよう心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人の自分らしさを大切に、思いや意見等を反映させる様にし、アセスメントを担当者が行い、ミーティング時、意見交換、話し合い、計画作成に生かしている。 (外部評価) 利用者主体の暮らしを反映した介護計画を目指し、利用者の担当者を中心にチームで計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画の遂行状況、効果等を評価すると共に、利用者の状況変化を家族に相談、説明し、計画を作成している。 (外部評価) ミーティング時には介護計画を再確認し、見直しは随時行っている。直接家族の意向を把握したいと考えており、来訪時には家族に確認してもらい押印してもらう。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別介護記録や、一日チェック表、連絡帳を勤務開始前に確認する。又、モニタリングや評価等行い、介護計画に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人の状況は日常生活の中で把握しており、家族の状況については日常的に連絡をとりながら対応している。 (外部評価) 多機能性については検討段階である。	※	ホームの離れの多目的ホールも1つの媒体として有効に使い、柔軟なサービス支援が進められていくことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 安心して心豊かな暮らしを続けられる様、ボランティアの協力を得たり、学生の職場体験受入れや保育園児との交流を行っている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 散歩もかねて隣接しているディサービスセンターや、保健センターを利用したり、入居前から利用している理容院による送迎にて、サービスを受けている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 包括支援センターの保健師さんも運営推進委員であり周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係ができています。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族が希望するかかりつけ医となっている、又、連携している医療機関を確保している。 <hr/> (外部評価) 家族と相談し、基本検診を行っている。検診結果は家族と共有し、今後の治療に活かしている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 日常的に保健師と相談できる体制にあり、専門医による往診治療を受けている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 隣接しているディサービスセンターや保健センターの看護師とは相談できる関係であり、又、往診時にも相談や指導を得られる。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) できる限り利用者や、家族の意向に沿って、情報交換しながら、事業所間での対応可能な段階で早期退院できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人の体調は常に家族と話し合い、理解を得ており、緊急時には家族、主治医、看護師に相談し対応する。 (外部評価) ターミナルの経験はまだない。重度化や終末期の利用者の受け入れは可能である。	※	重度化した場合や終末期のあり方について全職員で学習し対応方針の情報の共有化を期待したい。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 常に主治医、家族との連携が取れる状態にあり、今後の変化に備えた準備は整っている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 家族の了解のもと、情報提供できるように努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 年齢は尊敬にあたいするという観念を全職員に徹底しており、日々豊かに過して頂ける様支援している。 (外部評価) 一人ひとりの人格を尊重し、利用者への言葉かけ、言葉の内容、語調に配慮している。誇りやプライバシーを守りながらさりげない介助や対応を行っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 一人一人の思いを尊重し、意思決定できやすい様、言葉がけし、ケアに生かしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 常に目配り、気配りに心掛け、個人の意見を尊重し、散歩、居室等での休息を見守る。 (外部評価) 待つこと・見守ることを常に行っている。利用者が落ち着いた生活ができていることは、表情や言動からもうかがうことができる。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 日々、好みの服を着用して頂ける様支援し、本人の行きつけの理容、美容院へ、家族と一緒にしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 菜園でつくった野菜を収穫し、献立に取り入れたり、一緒に調理したり、楽しみながら食事できるよう心掛けている。 (外部評価) 「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶に感謝の気持ちが込められている。心のこもった愛情たっぷりの献立をみんなで一緒に和やかな雰囲気ですべていただいている。	※	近所の方に頂いたびわや、菜園の胡瓜やじゃが芋も食卓に登場する。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 好きなおやつを近くの店に買物に行く機会をもうけ、皆で楽しんでいる。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターン把握し、個々にあわせて誘導し、プライバシーを大切にしながら支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 利用者の希望にあわせて、体調をチェックしながら希望に添うような入浴を支援している。 (外部評価) 入浴拒否の場合は時間をずらしたり、職員を変更したりしてより一層快く入浴を楽しめるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中は居室外で自由な時間を持ちながら、軽運動や散歩等希望を考慮し、休息が取れる様支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 日々の清掃、調理等、できることを一緒にしながら行う。又、大きな声を出し、歌ったり、踊ったりし、一緒に楽しんでいる。 (外部評価) 「どどいつ」「炭鉱節」など喜んで生活の中に取り入れている。食事の下準備・後片付けなどさりげなく声かけし、自然な形で一緒に行くことは利用者の自信につながっている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭管理のできるご利用者は一部で、ほとんどのご利用者は難しい状態にあるので、家族の確認を得て小額の金銭を預かり個人出納帳を作成し、管理している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 保健センターやデイサービスセンターを利用したり、散歩や隣接のGHとの交流や日光浴をし、日々過している。 (外部評価) 調査当日の午前中は心地よい風が吹き天気恵まれていたので、車いすの利用者も職員と一緒に外出し、笑顔で帰ってきた。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 季節を肌で感じていただくために、外での食事（GHで作った食物）やお茶を楽しむ機会を設けている。そのとき家族や地域ボランティアとの交流も得られる。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望時には、電話や手紙を出す事ができる様、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 本人や家族、来所者の希望により、居室、ソファ、和室にて気軽に過せる様、配慮している。		
(4)安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 研修、ミーティングにより、職員全体が理解でき、拘束のないケアに心掛けている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 自由な暮らしを優先し、常に目配りし、安全に配慮しながらケアに取り組んでいる。 (外部評価) この地区は正午にチャイムがなり、利用者にとって時間把握に大きく役立っている。午後になると落ち着き度が不安定になり外出傾向が見られるが、寄り添いながら気分を安定させている。鍵はかけていない。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の行動が把握できるようなフロアになっており、常に見守りができ、安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 管理場所を決め、利用者の目に触れない所に保管、管理している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 介護事故防止対応マニュアルを作成し、それに基づき対応している。ヒヤリハットがあった場合記録しスタッフで話し合い、共有している。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 日赤講師派遣による救急法が毎年デイサービスセンターで行われ、それに参加している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 内部研修において消火器、配置場所、使用方法について確認している。地域消防団、住民の協力を得られる様体制づくりをしている。 (外部評価) 5月には夜間を想定した火災訓練を行った。災害対応マニュアルを作成している。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 体調変化に応じ、家族様に説明、相談し、安全で、心豊かに過して頂ける様支援している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日々のミーティングや連絡帳により、確認ができています。毎日バイタルチェックを行い、記録を見ながら体調確認ができています。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬について、書面で確認できている。服用の変化時も連絡帳により確認できている。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質の多い食物を献立に組み入れ、対応しており、自然排便ができる様心掛けている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後のうがいや、寝る前の歯磨きを行うよう促し、支援を行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食べやすいように調理し、食事をチェック表に記入して職員が確認できるようにしている。また、カロリー計算をしながらバランスに心掛けている。 (外部評価) 利用者が好む種類・季節の野菜の煮物・酢物などをメニューに取り入れながら職員が献立を作成し、デイサービスの栄養士にアドバイスやカロリー計算をお願いしている。水分・食事もきちんとチェックしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取組みがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 玄関、洗面所に消毒液を常備している。また、お茶でのうがい、石鹸での手洗いを励行している。又、感染症予防マニュアルを作成し、勉強会を行っている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食器乾燥機の使用や、ハイターによる除菌、清掃を行う。食材は常に新鮮なものを使っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 庭先には、樹木や草花を植えたり、ベンチをおき、気軽に訪問できるような雰囲気づくりを大切にしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) その季節に咲いた花を飾ったり、なじみのある音楽を流すなど、リラックスして過して頂ける様配慮している。 (外部評価) 和風の木造建物にふさわしい大小の照明があり、自然の風が通り利用者が多くの時間を過ごす安心感のある空間になっている。季節の生花が飾られ職員の優しさが感じられる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングの中央には畳の間があり、足を伸ばしたりくつろげる場所となっている。廊下には長いすをおき、外の景色を楽しんだり、自由に過せるよう支援している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 鏡台、タンスなど、使い慣れた家具を置き、自由な空間をつくっている。 (外部評価) プライバシーを大切に安心して過せるよう、昔懐かしい時計や使い慣れた筆筒が置かれた居室で落ちついた日々を送っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 常時、トイレ、台所は換気を行い、室温を管理している。エアコンや加湿器で調整し、心地よく過せる様支援している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) ホームには自由に移動できるスペースがあり、手すりも設置されてご利用者の身体機能に合った移動支援を行っている。見守りは常に行っており、安全面に配慮している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 解りやすく場所を示したり、混乱時には、さりげなく言葉かけをし、誘導している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 季節の野菜を植え収穫を楽しんだり、花を植え鑑賞したり、その花を居室に飾って楽しんでいる。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①全ての利用者の (自己 2利用者の2/3くらいの 評価) 3利用者の1/3くらいの 4ほとんど掴んでいない	本人、家族から今までの生活史を教えていただき、本人の思いを尊重しながら、日々支援している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある (自己 2数日に1回程度ある 評価) 3たまにある 4ほとんどない	常に見守りしながら、草取りや園芸で土のぬくもりと触れ合ったり、調理の準備と一緒にしたり、軽い運動や歌ったり、又、一緒に食卓を囲み昔話しや思いを聞きながらお茶の時間を過している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が (自己 2利用者の2/3くらいが 評価) 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	常に目配りし、自分の希望する廊下の長いすで外の景色を楽しんだり、和室で足を伸ばしてくつろげるようその人その人の生活リズムを大切にしたい支援を心がけている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が (自己 2利用者の2/3くらいが 評価) 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	以前、行っていた事の忘れがみられた時、ちょっとした言葉がけやさりげない支援で自信を持っていただき、生き生きとした表情や笑顔が見られている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が (自己 2利用者の2/3くらいが 評価) 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	その日の体調、気分に合わせて本人の希望を聞きながら、散歩や買物へ出かけている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が (自己 2利用者の2/3くらいが 評価) 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	介護記録や一日チェック表、連絡帳において日々の体調確認ができており、本人の訴えに耳をかたむけ、常に主治医、家族との連携が取れる状態にある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が (自己 2利用者の2/3くらいが 評価) 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	無理に同意を求めることなく、混乱時にはさり気なく言葉がけし本人の思いを受け入れ速やかに対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と (自己 2家族の2/3くらいと 評価) 3家族の1/3くらいと 4ほとんどできていない	いつでも気軽に電話や来所できるような関係であり、日ごろの思いや気になることの聞き入れができる雰囲気づくりができています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように (自己 2数日に1回程度 評価) 3たまに 4ほとんどない	保健センター、デイサービスセンターへ出かけた時、知人に会えたり、ホームにおいては友人、知人が気軽に訪れおだやかな時間が流れている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ②少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の行事や七草粥の食事会のお誘いを頂いたりグループホームへの理解者や応援者が増えてきている。
98	職員は、活き活きと働いている	①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員全員が同じ目的を持ち、常に意見交換できる場があり、お互いを思いやる心を持って働ける職場である。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員のさりげない言葉がけや誘導に穏やかに応じてくださり[ありがとう]の言葉が自然に出ている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	そのひと、そのひとに応じたサービスを心がけており、お便りや行事の案内をお知らせし、家族様とかかわれる機会を設け参加いただいている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

ゆいの里の基本理念であるぬくもり「家のぬくもり・人のぬくもり・地域のぬくもり」を大切にしながら、今日一日心豊かに過ごせた喜び、明日がある喜びを感じて頂けるよう支援していきたいと思っています。